

## 関係団体からの意見集約

### 1 実施対象団体

藤沢商工会議所 文化サービス業部会

### 2 意見収集方法

各部会員からの意見をアンケート形式により収集

### 3 アンケート内容

- (1) 再整備後の市民会館のあり方（コンセプト）について
- (2) 再整備後の市民会館に必要なホール機能について
- (3) 再整備後の市民会館に必要な機能について

### 4 意見等

#### (1) 再整備後の市民会館のあり方（コンセプト）について

- ・未来の子供たちや、子育て世代に魅力的な施設造りとともに、今後が発生する可能性のある災害時活用も踏まえた施設が必要
- ・高齢者が多くなり、音楽をじっくり楽しむ想いが強まると思う。高齢者に優しい造りである必要がある
- ・リアルとオンラインのイベントに対応した施設機能を盛り込むと良い
- ・文化芸術活動の拠点となるよう、多くの市民が利用でき、楽しめる場所になるよう、市民と共に要望に応えながら造り上げるべき
- ・美術館や博物館といった文化的芸術的機能が充たされた施設がなく残念です。市民のためには必要な施設である
- ・施設の壁面を使った歴史展示など、藤沢（市民）であることに誇りを持つるものが必要
- ・過去の日本の古いスタイルを想って良いものをつくる発想では、21世紀の成熟社会向けの施設は造れないと思う。高齢社会＋人生を楽しめる社会を先に作り上げたヨーロッパの成功例を参考とすべき

#### (2) 再整備後の市民会館に必要なホール機能について

- ・大ホールは千人規模でオーケストラや演劇（オペラ）などの利用を可能とし、小ホールは200～300人程度として、講演会や音楽会、発表会の利用ができるようにする
- ・大ホールは、著名な方を呼ぶには1500人以上の座席が必要。災害発生時

にも多くの市民の避難場所として活用できるように工夫する

- ・通信機能の強化とカメラ機能を備えた映像配信設備を整備するなど、デジタル化の進化に対応した機能も検討した方が良い。この機能は災害時も情報提供面で大きく役立つと考える
- ・コロナ禍において今後利用状況が変化することが想定されるのであれば、定員数・規模が少なくなるという可能性も想定した方が良い
- ・ホールにはある意味、緊張感を持って訪れるような佇まいが必要です。ホール自体が存在感を持ち、最高の設備を備えるなど、こだわり抜いて欲しい
- ・市民による身近な利用での利用予約が多いのであれば、現状に大きな変化（利用方法や規模感）は持たせずにチューンアップするのが良い

### **(3) 再整備後の市民会館に必要な機能について**

- ・出演者の満足度を高めるため、リハーサル室、スタジオ、楽屋機能を充実させる必要がある
- ・誰もが一度は利用したいと思ってもらえる市民会館を目指してほしい
- ・ホールとかリハーサル室などから出発すると、利用者が限定される可能性がある。高齢者にはまる施設をどう造るかだと考える

以 上